

第5学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 運動を楽しみ、よりよい記録やめあてに向かって、自分なりに精一杯運動することができる。

課題 ▼ 課題解決に向けて、友達とアドバイスし合うこと。

▼ 運動技能や運動に対する意欲の差が大きい。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 仲間と協力し、ともによりよいチームを築いていく力。
- ◇ 自分や相手の動きをイメージして運動する力。
- ◇ 健康や運動、チームプレイから得られる楽しさや喜びを感じ、運動やスポーツによって自分の生活を豊かにしていこうとする力。

具体的な改善策

- チームスポーツでは、仲間を生かすプレーも大事な活躍であることを理解させ、仲間のよさを生かし、ともに喜んでいるチームを称賛し、手本にさせる。
- 互いの動きや良さを言葉で伝え合う機会を多くとったり、ICTを活用したりして、技能やチームプレイのポイントを理解しやすくする。
- 個の能力やめあてに合わせたスモールステップの場を多く設定し、学校全体の取り組みとも合わせて、子供たちの体力作りに取り組む。

達成目標

- 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。